

特許 第 1498009 号

# スレイシック

SUIREI THICK



高速凝集沈殿槽





### 処理水確認孔

処理水を確認するための孔です。適切な処理ができていれば、ここに清澄な処理水が流れます。

### 減速機

この減速機によってスクレーパー（汚泥掻き寄せ機）が回転します。沈降したフロックが舞いあがらないよう、ゆっくりと回転しています。

処理水

原水（処理前）

### 傾斜板

この傾斜板効果により、一般的な沈降槽よりも滞留時間を縮めることができます。

### 点検窓

フロックの沈降、沈殿状態を確認するための窓です。底にたまった汚泥がこの窓から見えるようだと汚泥の貯め過ぎになります。スレイシク底部の汚泥量はなるべく少なく管理するのが安定運用のポイントとなります。

### ▶スレイシクが他の沈降槽と違う大きな特徴

一般的な沈降槽ではフロックの沈降分離を行うための滞留時間を得るために、非常に広いスペースが必要となります。

スレイシクでは槽内に傾斜板を入れることにより沈降効率を高め、より短い時間、省スペースでの沈降分離が可能となりました。これにより沈降に必要な滞留時間が削減されることで設置に必要なスペースの低減化を実現しました。

↑ 処理水（上澄み）

↻ 回転軸

↓ フロックの動き

### スクレーパー（汚泥掻き寄せ機）

ゆっくりと回転し、槽底部に沈降したスラリーを、効率よく中心部の汚泥マスへと掻き集めることができます。集められた汚泥は汚泥引抜きポンプによって排出されます。

汚泥

### 汚泥樹

沈降してきたフロックを、常時回転するスクレーパー（汚泥掻き寄せ機）により、掻き寄せ、集めるスペースです。

## 特徴

- ・ 滞留時間の削減
- ・ 省スペース化の実現
- ・ メンテナンス簡素化



タイプ	標準寸法 (mm)	処理量 (m <sup>3</sup> /h)	運転重量 (kg)
SS-05	Φ 1,800 × 4,500H	5	14,000
SS-10	Φ 2,300 × 5,500H	10	25,000
SS-15	Φ 2,500 × 5,500H	15	30,000
SS-20	Φ 2,800 × 6,000H	20	40,000
SS-30	Φ 3,200 × 6,000H	30	52,000
SS-40	Φ 3,600 × 6,500H	40	70,000
SS-50	Φ 3,600 × 7,500H	50	92,000

※ 寸法は、設計時に変更する場合があります。

